

非営利法人ニュース

2020年
6・7月合併号
Vol. 86



発行 公益総研 非営利法人総合研究所
東京都港区新橋6-7-9 新橋アイランドビル
TEL 03-5405-1811 / FAX 03-5405-1814
編集協力 (特非)国際ボランティア事業団・(公財)公益推進協会・NPO法人設立運営センター

★★ 助成金のお知らせ ★★

【1】For Children基金

- 目的: 難病の子どもとその家族は、重い障害やつらい治療に負けず今日も病気をたたかいつづけています。どんなに重い病気でも、どんな障害でも子どもは日々、成長・発達しています。そして、そうした子どもたちや家族を支えたい、力になりたい、明日への希望と勇気になりたいという思いで、この助成金ができました
- 助成対象: 日本国内において実施される活動で、以下の要件をすべて満たしたもの
 1. 上記の目的を達成しようとする事業であること
 2. 設立後1年以上の活動実績を有する非営利団体が行う事業
 3. 営利を目的としない事業
- 助成件数: 2020年は3~5件程度
- 助成期間: 単年度(2020年9月~2021年8月までの間の活動)
- 助成額: 1件あたり 100万円(上限) 補助率の制限はありません。
- 募集期間: 7月1日~9月30日 ※当日消印有効



◎情報満載! 今月のもくじ◎

助成金情報	1
奨学金情報	1
非営利法人関連情報	2,3
CEOコラム	4
編集後記	4

【2】横寺敏夫 患者と家族の支援基金

- 目的: 療養中の患者さんやご家族のサポートを積極的に行う団体及び個人に対し、その活動を側面から支援して活動成果の助長奨励の一助とすることで、患者さんやご家族の不安や苦しみが少しでも減り、笑顔が増えることを目的とします。
- 助成対象: 日本国内において実施される活動で、以下の要件のいずれかを満たしたもの。
 - (1) 患者さんやご家族に対する様々な支援活動
 - (2) その他この基金の目的達成に資する活動
- 助成件数: 2020年は3団体程度
- 助成期間: 単年度(2020年10月~2021年6月までの間の活動)
- 助成額: 1事業あたり50万円を上限とする。
(パソコン・カメラ等の耐久消費財の購入・常勤スタッフの人件費等の経常的経費は対象としません)
- 応募手続き: 応募用紙は、当財団ホームページ(<https://kosuikyoo.com/>)よりダウンロードし、必要事項を記入した応募用紙と添付書類を郵送してください。
- 募集期間: 2020年7月1日~2020年9月30日 ※当日消印有効

★助成金・奨学金応募先等★

【1】【2】助成金

【3】奨学金

→公益財団法人公益推進協会

応募用紙等郵送先

〒105-0004
東京都港区新橋6-7-9
新橋アイランドビル2階
(公財)公益推進協会
担当 高野宛

- ・For Children基金
- ・横寺敏夫患者と家族の支援基金
- ・中村道子奨学金

お問い合わせ
03-5425-4201

【3】「中村道子奨学金」

『介護福祉士を目指し専門学校へ進学する高校3年生対象』

- 募集期間: 2020年11月30日まで(当日消印有効)
- 採用人数: 2021年度の奨学生は3名程度を採用とする
- 応募資格: 2021年3月卒業見込みの高校3年生
2021年4月に一都三県(東京・神奈川・千葉・埼玉)の介護福祉士を目指す専門学校へ現役で進学すること
- 給付等: 専門学校2年間(24か月)、年額50万円を支給します

※奨学金、助成金情報はリンクフリーですので、ご自由にリンクしていただき情報提供をお願いいたします

「Go Toキャンペーンで国民はどこに行くの？」



公益総研株式会社 主席研究員兼CEO
公益財団法人公益推進協会 代表理事
(特非)国際ボランティア事業団 理事長 福島 達也

今日も東京都は、300人すれすれの新型コロナウイルスの感染者を発表し続けているが、何で緊急事態宣言も自粛要請も出ないのか不思議だと思っている人が多いのではないだろうか???

思い起こせば、安倍ちゃんは4月7日に緊急事態宣言を発令し、埼玉、千葉、東京、神奈川、大阪、兵庫、福岡の7都府県を対象に4月7日～5月6日の1カ月間、外出自粛を強く要請した。その後、感染者がなかなか沈静化しないので、ついに5月25日まで延期して緊急事態を継続したことは、記憶に新しいだろう。しかし、世間の予想通り、東京都ではその後も陽性者が増え続け、7月になると100人を軽く突破し、200人も突破、ついに300人か?というところまで来ているのである。(7月18日現在)

たった20人程度で宣言を解除しないで自粛を要請し続けていたのに、いったいどうしちゃったの??

理由は簡単!

そう、政府も自治体もお金がないのである。財布の中が空っぽでは、宣言しても、出すお金がないので、ほとんどの会社や人民を見殺しにしてしまうからなのである。東京都などは一番良い例だ。昨今は「職場クラスター」や「家庭内感染」などが次々と判明し、第2波への懸念も確実に高まっているが、正直に言うと、仮に第2波がきても、東京都は、再び休業要請はできないのだ。

東京都は、これまで休業要請に応じた店への助成金など、新型コロナウイルス対策に、およそ1兆820億円を充ててきたが、その財源となった助成調整基金が、3月時点のおよそ9,350億円から6月末に807億円まで大幅に減少し、そして、ついに7月でスカラカンになってしまったのである。よく、競馬に行ってお金を全部使い切り、「おけら街道」と呼ばれる駅までの長い道をトボトボ歩いて帰るようなおじさんがいるが、そう、東京都はまさに今その状態なのである。

誰が悪い??もちろん、私が前号で言った通り、あの人に決まっているだろう。それにもかかわらず、全く無策で対策を何もしなかったことに、毎日テレビで、新しいマスクを披露しながら感染者数を厳しい表情で発表する姿に、都民が「ヒーロー」と勘違いしてまた当選させてしまった.....

都民に言いたい!!「いい加減、テレビは見なくてくれませんか??」

テレビを見続けた人はほとんど百合ネエに投票したらしいから、都民が全員テレビを見なかったら、恐らく事実だけを知ることになり、彼女は当選することはなかっただろう。もう、テレビとそれにもすごく影響されるB層(自分の信念や意思を持たずマスコミに影響されるほとんどの国民のこと)は、永久戦犯だ!!

百合ねえ曰く、「withコロナの時代であること、それから“新しい日常”の定着が重要であること。お店の皆さんに周知徹底して進めていただき、安全な事業活動を展開してほしい」お金がないから自粛要請もせず、ただ「気を付けて」「周知徹底して」と言われてもどうしようもないだろうに。

政府も同じだ。もうやる事がだんだんなくなってきている。経済を完全に壊してしまったお詫びに始めようとした「Go Toキャンペーン」だが、7月22日の開始直前になって、旅行に行っても感染拡大をまき散らすのか?という懸念する声が増え、政府は急遽、東京都発着の旅行を対象外にすることになった。

なぜ??理由は二つ。一つは、東京都の感染者数がまだまだ多いからだ。もう一つは、あの人への腹いせに決まっている!

思い出してほしい。なぜ政府が緊急事態を宣言したのか??そう、緑のおばさんが「ロックダウン」という言葉を口走らせて、政府がもう後戻りできなくなったからなのだ。そして、しょうがなく突き進んだのが緊急事態や休業宣言だった。それで経済が完全に壊れてしまい、飲食業や観光業は壊死寸前だから、観光キャンペーンをするしかなかったのだが、新型コロナ感染症への過剰ともいえる恐怖心に駆られた一般市民からすれば、「旅行者=感染を運んでくる人」となって、感染を拡大させることにつながる本事業は「やめてくれ」という考えになっても仕方がないところだ。

PCR検査の検査数の大幅拡大なども手伝って、東京都をはじめとして感染者数の増加が見られるところ、こんな時期にキャンペーンをやったらかえって感染を拡大させることにつながるのではないかと懸念が一気に広まり、事実、延期すべきとか、東京都以外も除外すべきとの声が高まっている。日本では、感染しても重症者も死者もほとんど出ていない事実をマスコミが隠し続け、ほとんど風邪と変わらないウィルスをここまで危険な猛毒のようなものに仕立て上げたせいで、人民は恐怖におののいているのである。しかし、よく考えてみると、そもそもGo Toキャンペーンって、観光業や飲食業者にとって、救済になるのだろうか???

令和2年度第1次補正予算において措置された、最初の経済対策であるいわゆる「Go Toキャンペーン」というのは、観光関連業の支援分、平たく言えば旅行代金などを補助する事業なのだが、これから徐々に観光が増えたとしても、失われた部分の補填には一切ならないだろう。さらに、どんなことをしても、「旅行に来てほしくない」と「旅行は怖くて行けない」という人が大半なのだから、本事業が実施されたとしてもすべての事業者が同様に同等の売り上げが得られるわけではないだろう。当然、新型コロナ感染症の感染が拡大する以前と同様の数の来客が得られる保証もない。ということは、このキャンペーンは、観光業者などが倒産する時間をほんのささやかに先延ばしにする程度の効果しかないのではないだろうか??理由はそのだけではない。実際に旅行に出かけることになる一般市民、消費者についても、休業や失業、廃業などで収入が激減するかなくなってしまい、旅行に出かける余裕など全くないというのが現状ではないだろうか??大喜びで飛びつく人は、そもそもこのコロナの影響は全く受けていないような幸せな人たちに過ぎず、実際に本事業を使うことができる人は相当限られることが容易に推測されるから、コロナで元気がなくなった人を元気にするようなビタミン効果もなければ、消費喚起策にすらならないような気がする。

そうか!!!ということはやっぱり、Go Toキャンペーン、Go Toキャンペーンって言うけど、その後が続く言葉は「倒産」「破綻」だったのかもしれない。

なぜって、いわゆる新型コロナウイルス関連倒産は、帝国データバンクの調査によると、7月16日16時現在で346件、法的整理は271件、事業停止は75件となっており、倒産業種のうち観光関連では「ホテル・旅館」が46件となっているのだ!もちろん、これは単なる序章に過ぎず、今後、この新型コロナウイルス関連倒産は急増するだろうから。

そして、Go Toキャンペーンの行きつく最終地点は「自殺」だったら、本当に悲しい.....

.....CEOコラムバックナンバーはこちらから→ https://www.iva.jp/nposouken/ceo_column.html

編集後記

新型コロナウイルスの影響による外出の自粛期間中に、一度だけ夕食に出前を取ったところ、料理と一緒にマスクとジュースがおまけで付いてきて、更に「健康に気を付けてください」といった文面のお店からのメッセージカードも入っていて、ちょっと感動しました。これも今後のお客さん確保のための営業の一環だと言ってしまうとそれまでかもしれませんが、こういうちょっとした気配りをしてもらえるとまた頼みたくなりますね。(とら)